

<空の安全・安心を！ 整理解雇四要件を守れ！>

京都のつばさ

街頭宣伝用ニュース 第8号

2012. 4. 18

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 5F 京都総評気付Tel075-801-2308 (第11回定例宣伝)



**不当解雇撤回を稲盛和夫名誉会長に要求！**  
**豪雨・強風をついて京セラ本社へ要請行動**



「私たちは一昨年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 148 名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくをお願いします。」

We are 148 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve two years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 지난해 12 월 31 일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 148 명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

### JAL 争議不当判決報告集会を京都で開く 4.3

4月3日、おりしもの日本全国を襲った激しい風雨の中、JAL不当解雇撤回裁判の原告団は乗員・山口、客乗・内田団長を先頭に五人の原告団が入浴した。そして京都市伏見区の京セラ本社に赴き、日航の不当解雇撤回闘争勝利をめざす京都支援共闘会議のメンバーと一緒に、JAL稲盛和夫名誉会長宛の「早期の職場復帰と争議の全面解決を求める要求書」を提出した。

内田団長は「必ず勝ち抜く決意で、原告団一致して控訴し闘いぬきます」と決意表明。山口団長は「165人を職場に戻せ」とシュプレヒコールを、京セラ百メータービルに向かって、支援者とともに唱和した。

夕方には京都市中京区のラポール京都で、JAL判決報告集会と京都支援共闘第二回総会が満席の参加の熱気の中で開催された。

総会は佐々木合同繊維労組委員長(京都総評副議長)の司会兼議長で進行され、支援共闘代表世話人の脇田滋龍谷大学教授が「非正規問題をずっと取り組んできたが、資本の解雇自由の論調が強まっている。非正規は『解雇つき雇用』ともいえる。労働者全体をバラバラにしようとしている。しかし労働契約法16条には『解雇には合理的理由がある』とある。東京地裁もイナックス事件では最高裁でひっくり返して勝利した。がんばろう」と主催者挨拶。

山口団長と内田団長からは「薄っぺらな判決で、会社の言い分丸呑み。司法のあり方含めて変える闘いを。解雇自由の社会を認めない」と、判決報告。

支援共闘梶川事務局長から行動提起があり、月例JR京都駅前宣伝や京セラ株主総会や稲盛の京都賞授賞式会場前宣伝など、稲盛名誉会長の責任追及、今も役員派遣を行っている京セラ攻めをさらに強化する議案を満場の拍手で採択した。

そして、全厚生、京都農協、明治乳業、JMUIU日本電産シンポの争議団から連帯挨拶もうけた。

小森・西岡・神瀬さんという、とりわけ元気一杯の客乗原告団三人の決意表明も受け、「あの空へ帰ろう」の全員合唱のあと、支援共闘世話人の京都総評・岩橋議長の発声でガンバローを行った。



写真左は京セラ本社前、右は大久保自教前

2012.2.22 争議支援京都総行動